



第 18 回 子育てサイエンス・カフェ

江戸時代のこども絵本

— 江戸社会はどのような絵本を
こどもに与えていたのか —



講師

日本女子大学 文学部日本文学科教授 福田 安典

江戸時代の文芸や芸能全般の研究が専門。2020年、共著『伊予俳人栗田樗堂全集』で
文部科学大臣賞を受賞。

こどもが読む絵本というのはあたりまえにころがっています。こどもに絵本が与えられるのは江戸時代に始まりました。その一部は桃太郎や分福茶釜、花咲かじいさんなど今も読まれているものもあります。江戸の社会ではどのようなことを願ってこどもに絵本を読み聞かせていたのでしょうか。今回は桃太郎を例に取ってわかりやすく考えてみたいと思います。

日時

2024年5/11(土) 10:30~12:00

- Zoomによるオンライン開催となります。ご自宅からお気軽にご参加ください。
- お申込み受付後、詳細情報をメールにてお送りいたします。

▶ 申込み

申込

QRコード または URL からお申込みください。

<https://forms.office.com/r/xAVkuGqTuL>

- お申込み受付後、詳細情報をメールにてお送りいたします。
- 過去の子育てサイエンス・カフェの様子は、子育てサイエンス・ラボ
ニュースレター「ゆりのき」からご覧いただけます。



「JWU 子育てサイエンス・ラボ」を運営する社会連携教育センターの SNS アカウントです。

